

# 令和3年度 小林市立南小学校 学校関係者評価書

NO. 4

評価段階 4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

学校経営 ビジョン	○ 一人一人主体的に「確かな力（知・徳・体・食）を身に付け、自信と誇りをもち、夢や希望の実現を目指す自立した人材を育成する。 — かしこく やさしく たくましく —
--------------	---

## 〈食育〉 ○ 望ましい食習慣と「豊かな食」への意識

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	結果の考察・分析及び改善策	自己 評価	保護者 評価	関係者 評価	学校関係者評価のコメント
食  育	1 家庭、地域と連携した食に関する指導の充実	○ マナーカードの活用により、姿勢、箸やお碗の持ち方など意識を高めることができた。 ○ 6年児童の食育教室に参加し、地産地消、食の大切さを学ぶことができた。	2.87	3.46	3.20	○ 食事のマナーは大切なことで、マナーカードの活用により意識を高めることができていて良い。 ○ コロナ禍で地域との連携は難しいと思うが、地域の方が積極的に食に関して関わってよいのでは。 ○ 食育・農育の充実もお願いしたい。 ○ こばやし食育教室に参加し、味覚やマナーの育成を図っていることが素晴らしい。
	2 自らの食を意識する活動の充実	○ 弁当の日を計画的に実施できたことで、児童の食に関わろうとする意欲を高めた。 ○ 調理実習は実施できなかったが、栄養教諭を講師として、栄養と望ましい献立を学習することができ、自分の食を振り返ることができた。	2.87	3.47	3.00	○ 弁当の日の取組は子どもも保護者も意識して取り組めるので何度行ってもよいと思う。
	3 給食指導と食事マナーの徹底	○ 月毎に残菜量を職員に提示することで、職員が児童に指導する際に生かすことができた。 ※ 残菜量（1月0.8%） ○ 給食時間を中心とした、マナーや偏食指導を毎日行うことができた。	3.23	3.49	3.60	○ 残菜量の減量に先生方が熱心に指導されている。 ○ 食事のマナーや食べる量・質も各家庭で様々だと思われる。学校で指導してくださることはありがたい。

次年度の方向性についての 校長所見	<p>1 本年度の取組について 本年度も、コロナ感染対策のため、多くの行事や活動が中止、縮小されたが、感染対策を講じながら実施方法を工夫し、保護者や地域の方々の理解・協力をいただき、可能な限り実施の方向で取り組み、「知」「徳」「体」「食」において成果を残すことができた。特にICTに関してタブレットを積極的に活用して、児童の思考力・判断力・表現力の向上に努めることができた。</p> <p>2 次年度への改善に向けて 次年度もコロナ感染対策を講じながら、実施方法を見直し、教育効果を上げる取組を進めていきたい。特に、ICT活用に関してはさらに研究を進め、タブレット等の有効活用を探り、児童の学力向上につなげていきたい。</p>
----------------------	---